

TTC 定例山行実施記録

2014年12月15日 報告者: 坂本 達治 (1/2)

山行名	箱根神山 忘年山行 [1438m 神奈川県]						
実施日	2014年12月13日[土]~12月14日[日] 1泊2日 公共交通機関利用+マイカー:1台						
天候/ レベル/参加人員	天候: 12/13:晴時々曇、12/14:晴時々曇 レベル:★★ 参加者:申込28名/実施27名(男性15名、女性12名)						
パーティスタッフ	CL/計画:、SL:、会計:、救護:、 写真:、忘年会/2次会 MC: スタッフ名削除						
参加メンバ	【神山周回登山組】※、※、※、※、※、 ※、※関、※、※、※、※、 ※、※、、※、※ 【神山ピストン登山組】※、※、※、※ 参加者氏名削除 【宿直行組】 ※:2日目の小涌谷周辺ハイキングに参加者						
費用 13,620 円/人 (小田原駅発着ベース) TTC カンパ金: 317 円	〔内訳〕●往路公共交通機関交通費:箱根登山鉄道(小田原~強羅):@670、 箱根ケーブルカー(強羅~早雲山):@420*2、箱根ロープウェイ(早雲山~大涌谷):@1,290(往復・団体割引)、 ●復路公共交通機関交通費:箱根登山鉄道(強羅~小涌谷):@130、 箱根登山鉄道(宮ノ下~小田原):@580、●宿泊費:@10,920、●忘年会飲み物代:4,660 円、 ●忘年会余興景品代:13,800 円、●2次会飲物、つまみ等:8,353 円、●通信費:1000 円、 ●TTC からの補助金:50,000 円、カンパ金:317 円 一人当たり:@13,620 (1日目:箱根神山登山、2日目:小涌谷周辺ハイキング、小田原駅発着ベース)						
歩行時間 /行動時間		12/13[土]			12/14[日]		
		歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
歩行時間比率 =(実績歩行時間 ÷計画歩行時間)	ガイドブック	3:35	-	-	1:55	-	-
	計画	4:15	1:35	5:50	2:20	0:30	2:50
	実績	3:49	0:58	4:47	1:53	0:42	2:35
		歩行時間比率=90%			歩行時間比率= 81%		
実行コースタイム記録							
<p>12/13[土] 小田急 箱根登山鉄道 ケーブルカー ロープウェイ (67') (8')</p> <p>本厚木=====小田原====箱根湯本====強羅~~~~早雲山~~~~大涌谷-----冠ヶ岳分岐-----</p> <p>7:21 7:59-8:05 8:19-25 9:03-18 9:28-9:35 9:45-10:08 11:15</p> <p>(7') (14') 昼食 (35') (63') (10') (25')</p> <p>---冠ヶ岳---冠ヶ岳分岐---神山---防ヶ沢分岐---早雲山駅分岐---神山分岐---大涌谷====千代田荘</p> <p>11:23-29 11:36-39 11:53-12:28 13:03-08 14:11-20 14:30 14:55</p> <p>12/14[日] 箱根登山鉄道 (16') (30') (7') (60') (10')</p> <p>千代田荘---強羅====小涌谷---千条(ちすじ)滝---浅間山分岐---浅間山---下山口---宮ノ下駅</p> <p>9:48 9:55-10:07 10:12-15 10:31-40 11:10-15 11:22-40 12:40 12:50</p>							
コースの概要、特記事項、反省事項等							
<p>♪箱根の山は天下の嶮、函谷關ものならず♪と歌われ、年間を通して観光客が途絶えることがない“箱根”を忘年山行場所として設定したが、ネットで温泉宿を探すと一昨年(河口湖)あるいは昨年(武甲山)と比較して、宿泊代が最低でも 6,000 円/人以上も高く、非常に頭を痛めた。TTC の過去実績では、今回のコースを回って本厚木に戻ってから新年会を実施したケースもあることから、一年間で最も大きなイベント山行として位置づけられる“忘年山行”であるが、日帰りで実施することも視野に入れて検討を進めた。YM さんに相談したところ、旅行会社を通して当たっていただき、東京都千代田区保有の格安の保養所を幸いにも見つけていただいたことで、例年通りに温泉宿でゆったりと過ごすことができる忘年山行を挙行することができることになった。</p> <p>実施 10 日ほど前の時点で、下山に使う予定であったルートの一部(早雲山駅の近く)が通行止めになっていることが判明し、出発点の大涌谷駅に戻るルートに変更した。また、直前の天気予報では実施当日に「日本列島を今冬一番の大寒波が襲う」と告げておりヤキモキしたが、箱根町周辺はドカ雪に降られることはないことを確認して、計画通りに実施の運びとなった。</p>							

12/13[土]:晴れ時々曇り

往路は3つのグループに分かれて現地に向かうことになった。小田原駅を起点に公共交通機関利用組(18名)、忘年会やその後の2次会で使う器材、楽器、飲食物等の運搬を兼ねたマイカー組(5名)、および体調の関係で山行をパスし現地宿に直行される組(4名)のそれぞれがほぼ計画通りに行動されたが、公共交通機関利用登山組が強羅駅でのチケット購入で、SUICA/PASMO をそのまま使うことができないために手間取り、ケーブルカー乗車が1便遅れとなるハプニングがあった。

噴煙が立ち上がる大涌谷に到着すると、9月下旬に発生した御嶽山の噴火が思い起こされ、「少なくともこの2日間は静かにしていて欲しい！」と自分(達)中心な思いが頭をよぎった。名物の“1個食べたら7年長生きする”と言われている温泉黒卵は「欲しい方は下山後に買い求めていただく」こととし、HMさんの音頭でウォーミングアップを入念に行なった後、計画に対し23分遅れでスタートした。

暫くして振り返ると真っ白に雪化粧した日本一の山が真っ青な空にくっきりと浮かんで雄姿を見せており、特にこの時期の富士山は本当に何度見ても飽きが来ない。ゆっくりと歩を進め、1時間ほど経ったところで冠ヶ岳分岐に到着。往復15分程度の冠ヶ岳山頂へのピストンは希望者のみとしたが、今朝の冷え込み(今冬一番?)で、「山頂周辺はかなり美しい樹氷が期待できる」ことを告げると、23名中21名の方が参加され、期待を遥かに上回る美しい氷の世界を堪能することができた。

更に15分ほど歩いて神山で昼食とした。冠ヶ岳～神山の山頂辺りはガスが発生して陽射しが遮られたこともあって、かなり底冷えし、温度計の目盛は-4℃～-5℃を指していたが、木陰で冷たい風をよけながら身を寄せ合って昼食をいただいた。

昼食後メンバより申し出があり、5名の方が神山ピストンで大涌谷に戻られることになり、18名で計画通りの周回コースを歩いた。坊ヶ沢分岐から早雲山に向かうコースは緩やかな下りで、フワフワの絨毯のように敷き詰められた落葉が心地よく、とても歩き易かった。

昨年に引き続き忘年会のMCは、TTC随一のパーソナリティKTさんとHMさんにお願ひし、笑いや拍手の絶えない楽しい宴席となった。圧巻は何と言っても、『OMさんのバイオリン演奏』と『OKさんのフルート & HMさんのキーボード演奏』であった。暫らくの間は美味しい料理やお酒を“おあずけ”状態にしてミニコンサート形式にして忘年会をスタートしたが、アンコールも飛び出して拍手が鳴りやまない、素晴らしい内容であった。趣向を凝らしたゲームや余興が続き、かつてない盛大な宴席となり、2時間がアツという間に過ぎ去っていった。この後、男性部屋の一室での2次会になだれ込み、今年を振り返りながら来年以降に思いを馳せ、いつまでも賑やかに語り合った。お酒が飲める方も下戸の方も、ほぼ全員が2次会にも参加されて、親交を更に深め合うことができた。

12/14[日]:晴れ時々曇り

2日目も素晴らしい天候に恵まれ、二日酔いで頭がややボーっとしているものの清々しい朝を迎えることができた。かなり厳しい冷え込みとの予報であったが、昨日よりはかなり暖かく感じられる。朝食後12月度例会を実施後、ここで1回目の解散とした。

2日目に計画していた小涌谷周辺のハイキングへの参加者は19名で、千条(ちすじ)の滝、浅間山を巡って、のんびりとハイキングを楽しんだ。山頂ではポカポカ陽気の日射しを浴びながら多くのハイカーがお弁当を広げて談笑していた。ここで大平台駅、箱根湯本駅方面に向かう組と、計画書通りに宮ノ下駅に下る組に分かれ、更に宮ノ下駅で公共交通機関利用組とマイカー組に分かれて、それぞれに帰宅の途に着いた。

最後になりましたが、多くの皆さまのご協力、サポート、差入れ等をいただいたことにより、安全に山行を遂行できたことと併せて、例年になく大いに盛り上がった忘年会&2次会を開催することができました。心より御礼申し上げます。

— 以上 —